



たぐすい

TAKUSUI

2000 JUNE No.524

6

●トピックス●

植樹活動を開催

COLUMN

◆ 駄菓子屋で… ◆

●丹波篠山へ往つたら駄菓子屋があった。ベーママめんこビー玉が並び、壁に「むき」という当てもものも吊り下がっている。子供の頃、親しんだもので、当てももの籤(くじ)をめくるとプロマイドが当たった。嵐寛や千恵蔵、右太衛門、大河内傳次郎の丹下左膳もあった。杯集めて自慢し合い、ビー玉やめんこの取り合いが、毎日の生き甲斐だったのである。勉強は二の次に遊ぶことを重視し、伸び伸びと暮らしていた。テレビゲームは無かったが、広い原っぱがあり道路も路地裏も子供の楽園だったのである。

●小学生の頃、祖母が駄菓子屋を始めるため土間を改造し、知り合いに斜めになった台を捨て貰った。横口のピンを並べ、子供向けの駄菓子を入れた。仕入れに問屋へついで行き、たくさんある中から売れ筋を選んだ。人気のある黒砂糖のかりん糖や塩煎餅や、あてももの「むき」も何種類か仕入れた。模型キットやプロマイドが当たるものや、超特大のゴム風船が目玉にしたものがあった。それらの当たり籤は、売り始めには外してあり、誰にも当てられない工夫がしてあったが、何かインキ臭い感じもしたものだ。

●その頃のこと、悪ガキが集まり遊んでいる脇を、足の不自由な婦人が不自然に腰を振って通ったのである。それを見たガキ大将が、真似をして巫山戯(ふざけ)たので、みんなはおかしくて大笑いした。身体障害者を嘲笑した訳でなく、大将の素振りが滑稽に過ぎたのだが、婦人は自分を笑ったと学校に訴えたので校内問題になった。担任からお目玉を喰ったが当然の罰だったろう。子供の遊びだとしても、人の不幸を論(あげつら)い、それを嘲(あざけ)ったりするのは許されない。暫くは気まずい思いで過ごした。かりん糖の黒砂糖を見ると、真剣に叱った先生の顔が蘇ってくる。苦しい駄菓子である。(◇)

COLUMN 2

駄菓子屋で…

TOPICS 3

植樹活動を開催、県民ボランティアキャンペーン「全国漁協組合長緊急集会」を開催
「海苔キャンペーン」で小学生からお礼の手紙!

インフォメーション 5

「第17回 大阪湾クリーン作戦」の実施について
写真コンクール応募要項

水試ノート 7

但馬沿岸域のヒラメの漁業実態と
平成12年の推定資源量

栽培漁業センターです 8

海区漁業調整委員会だより 9

普及員だより

農漁村におけるパートナーシップをめざし
仲間と共に、力をつける浜の母ちゃん達

兵庫JCC通信 10

J A ー ひょうごの農業をもっと知って
ほしいと今年も県内の小学校
四年生に学習資料を寄贈
生協ー私たち安心して食べたい!!
「食品の安全」学習会

旬の美味い話

かれいのみそ蒸し

拓水Promenade 11

巻末エッセイ「洗濯について考える」

編集後記

こちら海ですロケだより 12

花の島・淡路 ～淡路島各地より～

フォト歳時記

タチウオのセリの風景

瀬戸内海では春から夏に、産卵と餌を求めにやってくる。秋の終わりには外海に去り、太平洋、九州西方で冬を越す。

英語名“リボンフィッシュ”大海原に舞うリボンを連想するその名とは裏腹に、頭上を通る獲物を鋭い歯で襲う獠猛さをあわせ持つ。

夏も近づき、太刀魚漁はもうすぐ終わりを迎える。



今月の表紙

撮影者
＜明石浦漁協＞
山崎 清張さん

「拓水」は漁協と漁協系統団体を結ぶ「コミュニケーション」の場です。報知したいこと、文芸などみなさんの投稿は大歓迎いたします。裏面の発行所「拓水係」宛送付ください。

植樹活動を開催

兵庫県漁青連・漁婦連



急斜面での植樹は大変!!

去る五月十二日(土)に兵庫青連・漁婦連主催の植樹活動を昨年度の波賀町に引き続き、東浦サンパークにおいて開催しました。

当日は澄み切った五月晴れの下、県下各地から集まった青壮年部・婦人部員やその家族、またボランティアとして参加した県や漁協系統関係者等約百二十名により植樹活動を行いました。

県漁青連の成瀬会長より「海の環境保全活動の環として、私たち漁業者が植樹運動を展開し、森林を育て、次世代へ豊かな



貝原知事も植樹に参加

な漁場を受け継ぐ活動を今後も続けていきたい。」そして兵庫青連大里会長より「日頃より取り組んでいる海浜清掃や、天然石敷普及活動等の環境保全活動に加え、この植樹活動を行うことによつて、海の環境改善を行う一助としたい。」との挨拶があり、引き続き、県水産課の小西課長、県漁連の

戸田常務より来賓挨拶の後、植樹に移りました。

各地区代表者十名が二日程のオオヤマザクラ五本を植樹した後、参加者全員でコデマリ四十本、ネムノキ三十本、コウヤミズキ二十五本を植樹しました。急斜面で足場は悪かったのですが、参加者は日頃漁業で鍛えた体力を駆使し、約三十分で植樹は完了しました。

また、当日は兵庫県・東浦町等主催の「ひよこ森の祭典」(〇〇〇)も同時開催しており、式典に出席された貝原兵庫県知事、新阜東浦町長、小川県漁連会長も参加者と一緒には植樹をされました。

両会は今後も植樹活動を展開し、県下各地に「漁業者の森」を作り、漁場の環境改善に努めていく意向です。

県民ボランティア活動 キャンペーン

兵庫県ではボランティアセクターの確立をめざし、県民が自発的・自律的に行う県民ボランティア活動への理解を深めることも、活動への参加を促進するため今年も六月一日から八月三十一日まで県民ボランティア活動

キャンペーンを展開します。

県民ボランティア活動とは、県民のみならず、各種団体が県内外で行い、または震災時のように県外の人が県民のために自ら自発的で自律的な営利を目的としない不特定多数の利益の増進をめざす活動のことです。

県民ボランティア活動には保健医療・福祉、社会教育、まちづくり、文化芸術・スポーツ、環境保全、国際協力など、さまざまな分野があります。

また、キャンペーンの環として、県民ボランティア活動の実践を呼びかける体験談、提案及び標語を募集する、みんなに伝えたい私の県民ボランティア活動、作品募集事業を実施します。応募要領など詳しい内容については、左記の問い合わせ先までお願いします。

問い合わせ先

兵庫県県民生活部生活文化局
 生活創造課ボランティア活動室
 神戸市中央区下山手通五―一〇―
 TEL (〇七八)三四―一七七一
 (内線 一八〇七)
 FAX (〇七八)三八―一三九〇八
 URL <http://www.hyogo-inter-campus.ne.jp/gallery/v-hyogo/>

水産基本政策の確立を目指し

「全国漁協組合長緊急集会」を開催

全漁連は、6月1日東京・千代田区の砂防会館において全国から漁業関係者約1000名の参加のもと「水産基本政策確立全国漁協組合長緊急集会」を開催し、政府・国会に向け基本政策の確立を強く求める決議を採択し、緊急アピールなどを行いました。

決議採択の内容は次のとおりです。

◆ 水産基本政策の確立に関する決議

わが国水産業は、国民食料供給産業として持続的に発展し、国民生活の安定に貢献していかなければならない。このため、国は、昨年末まとめた水産基本政策大綱に基づき、水産基本法の制定、並びに関連制度の整備をはじめとする政策の具体化の準備を進めている。

よって、これらが真に漁業・漁村の活性化につながるため、特に、下記政策の実現を政府・国会に強く要望する。

記

1. 減船・休漁等、水産資源の回復のための漁業者の取り組みに対する十分な経営安定措置を講ずること。
2. 活力ある担い手の経営安定のため、漁済制度の改革・拡充等、漁業経営安定対策の充実を図ること。
3. 産地市場統合の推進を核とした水産物流通の効率化等、消費者ニーズへの対応を図るための総合的な施策を講ずること。
4. 関連事業の一体的・効果的な実施により、資源増殖から生産、流通に至る総合的な水産基盤の整備を図ること。

◆ 漁協合併再編を促進する緊急政策の確立に関する決議

漁協系統は、国民への水産食料の安定供給を担う漁業と漁村の中核的組織として、新政策の下で、資源の回復、担い手の育成、水産物流通の効率化などの役割を果たす立場にある。

このため漁協系統は、強いリーダーシップのもと、次の組織・事業改革を断行する。

- 「自立漁協」の早期構築に向けた、合併・事業統合の確実なる実践
- 金融環境の激変に対処できる漁協信用事業実施体制の整備
- 経営・管理体制の確立

よって、合併・事業統合を実践し、21世紀にふさわしい漁協づくりを促進するため、下記の緊急政策の確立を政府・国会に強く要望する。

記

合併・信用事業統合を確実に進め、かつ、合併後の漁協が健全な経営を維持し役割を発揮できるよう、抜本的な財政支援と必要な関係法制度の改正を図ること。

◆ 漁村環境整備の促進に関する決議

現状、漁村における生活雑廃水処理、トイレの水洗化、交通アクセス等の整備は、都市部と比較して著しく遅れしており、その格差が甚だしい。

このため、生活雑廃水がそのまま海に流入することにより、産卵や稚魚の育成を阻害するなど、水産資源に深刻な影響を及ぼしている。水産物の持続的利用を推進し、また、若者をはじめとする漁村生活者にとって住み良い生活環境を構築するため、下水道等の普及率向上は極めて重要かつ緊急の課題である。

しかしながら、現行の事業体系では、市町村や受益者の負担が大きく、整備が進んでいない状況にある。

よって、これが整備を短期間に実現するため、下記政策の実現を政府・国会に強く要望する。

記

1. 漁業集落環境整備事業等の市町村・受益者の負担を軽減するための財政措置を実施すること。
2. 関係予算の大幅な引き上げと、事業採択要件の改善等事業制度を充実し、早急な整備を図ること。

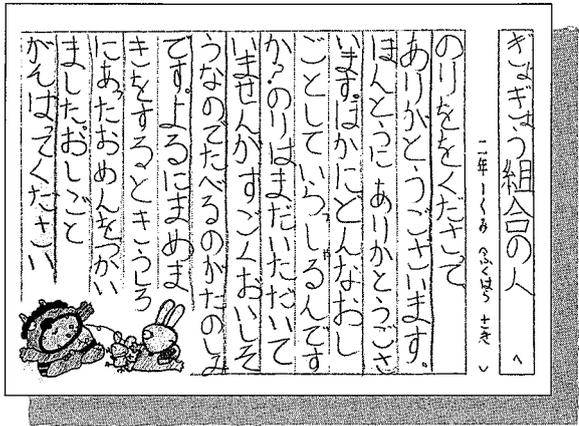
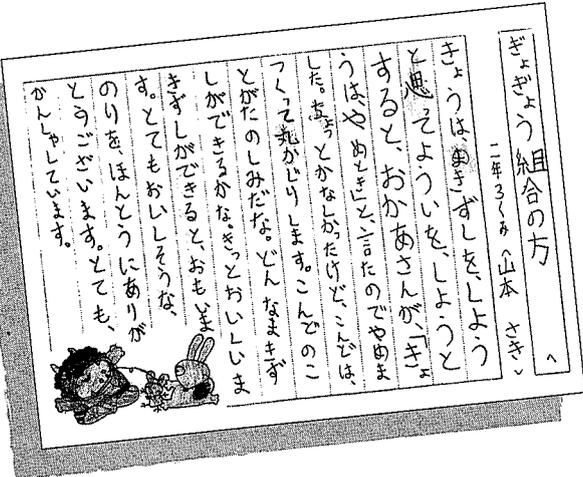
『海苔キャンペーン』で小学生からお礼の手紙！

関西圏では、毎年、『節分』の時期になると、恵方に向かって巻き寿司を丸かぶりすると言った風習があります。

この時期、兵庫県漁連では、のりの消費宣伝活動の一環として、全国各地の問屋組合（東京・大阪・名古屋・広島）に数多くののりを提供したり、兵庫県においても幼稚園や小学生を対象に『新海苔』をプレゼントし、海苔のうまさを味わってもらおうキャンペーンを行っています。

今回、神戸の問屋組合（松谷海苔（株））代表が市内の小学生に海苔を配ったところ、神戸市立白川小学校よりたくさんのお礼の手紙をいただきました。

『一枚でも多く海苔が食べられることを願う』お礼の手紙の一部を掲載します。



インフォメーション

『第17回 大阪湾クリーン作戦』 の実施について

第五管区海上保安本部は、第三港湾建設局、大阪湾沿岸の各地方自治体、各種団体に呼びかけ、環境月間の6月1日から6月30日までの1か月間、『大阪湾クリーン作戦』を実施し、大阪湾の海洋環境の改善を図るほか、海洋環境保全思想の高揚に努めます。これは、例年実施しているもので、今回は17回目です。

昭和59年から始まった本作戦は、各種PR活動と大阪湾の海岸、防波堤付近及び海面のごみ並びに大阪湾に流入する河川のごみの一掃浄化運動を、各機関・団体が一体となり集中的に実施しているもので、その概要は次のとおりです。

一、クリーン作戦の内容

1 PR活動

- ① 広報用ポスター（別掲）を作成し、大阪・神戸のJR等鉄道の主要駅構内、フリー乗場等広く掲示し、一般の人々に大阪湾の浄化について理解と協力を求めます。
- ② 旅客船「カーフェリー」では、ごみを海に投棄しないよう船内放送で呼びかけ、海洋環境保全の大切さを乗客に訴えます。
- ③ 第五管区海上保安本部大阪湾海上交通センターでは、FAX情報の提供に際して、「大阪湾クリーン作戦実施中のメッセージ」を入れます。

2 ごみの回収（海浜清掃等）

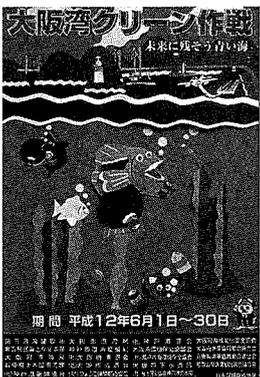
- ① 巡視船艇のほか、第三港湾建設局各地方自治体港湾局各港の清港会の所属船、漁船などが協力して、大阪湾内・港内を含むの浮遊ごみの回収を行います。
- ② 各機関、関係自治体等が協力して海岸・河川敷等のごみの回収に当たります。
- ③ 釣船業者、渡船業者、釣り団体、ヨットクラブ、マリナー等が、防波堤、釣り場及び海岸のごみの回収を行います。
- ④ 大阪地区スキーバーダイビング安全対策協議会、兵庫地区スキーバーダイビング安全対策協議会等が、海水浴場、釣り場等の海ごみの回収を行います。

二、参加機関

第三港湾建設局 大阪湾沿岸の各地方自治体、各種団体等 七十五機関

問い合わせ先

第五管区海上保安本部
警備救難部海上環境課
TEL 〇七八—三九—六五五
内線 二七二 川下（かわした）



第20回 全国豊かな海づくり大会 写真コンクール

中・高・一般の部 / 平成12年6月30日締切
海と生活・水産業の写真を募集しています。



全国豊かな海づくり大会は、恵みある海の自然環境を守るとともに、水産資源を守り育て、永く後世に伝えることの大切さを国民の皆様にご理解いただき、豊かな海づくりに寄与することを目的に、昭和56年から毎年開催されているもので、海版の「植樹祭」といえるものです。今年、第20回大会が10月1日、京都府網野町において「新しい世紀につなぐ 海づくり」を大会テーマに開催されますが、大会の趣旨を広く皆様にご理解いただくために、本年も写真コンクールを行うこととなりました。多くの方々のご応募をお待ちしております。

題材

水産業ならびに海とその生活に関するもの

漁業、漁港、市場、漁村風景、海の生物に関するもの

審査員

佐藤 明(写真家)、豊かな海づくり大会推進委員会関係者、他

部門及び応募資格

- 中学生の部：中学生生徒及び盲・ろう・養護学校中学部の生徒
- 高校生の部：高等学校生徒及び盲・ろう・養護学校高等部の生徒
- 一般の部：特に制限なし

サイズ等

サービス判(一般の部はキャビネ判以上)～ワイド四つ切りのカラー及び白黒プリント、スライド可

応募方法

画題、住所、氏名、年齢、職業または在学学校名・学年、連絡先電話番号、撮影日・場所、撮影データを記入した応募票(自作のもの可)を作品の裏面にテープで貼り(ノリ付け不可)、下記あて送付してください。スライドは直接フックにも画題、氏名、電話番号を記入すること。また、京都府外に住居があり、京都府内に学校・職場のある人は、備考に在学・在勤と明記してください。

TEL 075-8500

〒600-8500 京都府千代田区内神田1-1-22 コープビル 全漁連漁政部内
「第20回全国豊かな海づくり大会写真コンクール係」
TEL 075-3294-9613

発表

入賞・入選作品は第20回全国豊かな海づくり大会(平成12年10月1日京都府網野町にて開催)において発表・展示(予定)します。また、入賞、入選者へは、文書にて本人に直接通知する他、「フォトコンテスト」誌上に発表する予定です。

応募締切

平成12年6月30日(金)(必着)

賞及び副賞

〈一般の部〉

- 金賞 大会会長賞および賞金10万円 1名
- 銀賞 農林水産大臣賞および賞金5万円 1名
- 銅賞 水産庁長官賞及び賞金3万円 1名
- 特別賞 京都府知事賞および記念品 1名
- 入選 メダルおよび賞金1万円 10名

〈中学生の部・高校生の部〉

- 金賞 大会会長賞、橋および副賞(文具券5万円) 中・高各1名
- 銀賞 農林水産大臣賞、橋および副賞(文具券3万円) 中・高各1名
- 銅賞 水産庁長官賞、橋および副賞(文具券2万円) 中・高各1名
- 特別賞 京都府知事賞および記念品 中・高各10名

※特別賞の対象は京都府に住居、職場または学校がある人に限ります。

応募上の注意

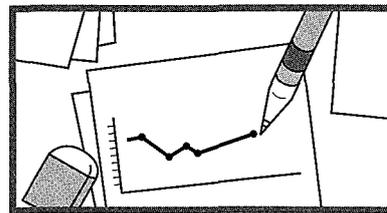
- 作品は未発表および発表予定のないものに限る。組み写真は5枚以内とし、テープでつなく。
- 入賞・入選作品(プリント)は指定された期日までにネガを提出すること。
- 応募作品の返却は、原則として実施しない。
- 入賞・入選作品の著作権は豊かな海づくり大会推進委員会に帰属する。
- 応募規定に違反した場合または期日までにネガ未着の場合は入賞、入選を取り消すことがある。

第20回全国豊かな海づくり大会写真コンクール応募票

画題			
名前			男 女
住所	〒		
電話	自宅		
職業 または 学校名			年齢 学年組
所属 クラブ	クラブ 責任者		
学校・職業住所	〒		
電話	☎		
データ	カメラ	レンズ	F
	絞り	シャッター	/ 秒
	撮影場所	撮影	年 月 日
	フィルム名		

※コピー及び自作可

水試 NOTE



但馬沿岸域のヒラメの漁業実態と 平成十二年の推定資源量

平成八年度から始まった、但馬沿岸域のヒラメの資源生態調査によって、その漁業実態が明らかになってきました。前回お話しした、漁獲統計、市場調査、生物測定という三つの基本調査に基づいて、毎年ヒラメの資源尾数を推定することもできます。

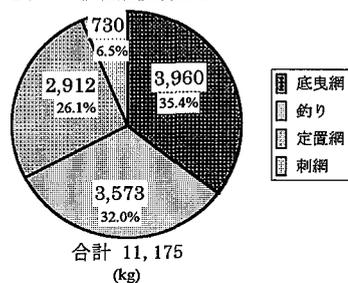
ヒラメの漁獲量は、平成四年から減少に転じました。平成十一年の漁獲量および漁獲金額は、それぞれ約十一トン（前年比九〇%）、三千八百万円（同七八%）であり、依然として減少傾向が続いています。

今回は、但馬沿岸域のヒラメの漁獲実態について説明し、最後に平成十二年当初の推定資源量と、今年の漁獲量を予想してみたいと思います。

図一に平成十一年の、漁法別漁獲量と漁獲金額を示しました。漁法別では底曳網による漁獲量が一番多く、次いで釣り、定置網の順となっていて、それは漁獲金額についても同様であることがわかります。しかしこの二つのグラフを交互にながめて見ると、漁獲量と漁獲金額では、漁法によって全体に占める割合が異なっていることに気がつきます。たとえば、底曳網による漁獲量は全体の三五・四%ですが、漁獲金額に占める割合は四二・七%に増加しています。逆に釣り、定置網では、それぞれ三二%、二六・二%から三〇・六%、二二・七%に減少しています。

そして、釣り、定置網による漁獲尾数は底曳網に比べてはるかに多いことがわかっています（約五倍）。これは何を意味しているのでしょうか……？そうですね、底曳網と、釣り、定置網ではヒラメ漁獲サイズが異なり、底曳網で漁獲されるヒラメは、釣り、定置網に比べて大型のもの

ヒラメの漁法別漁獲量(1999)



ヒラメの漁法別漁獲金額(1999)

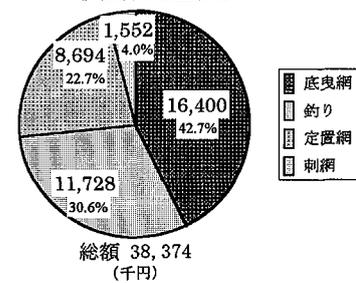


図1 ヒラメの漁法別漁獲量および漁獲金額(1999)

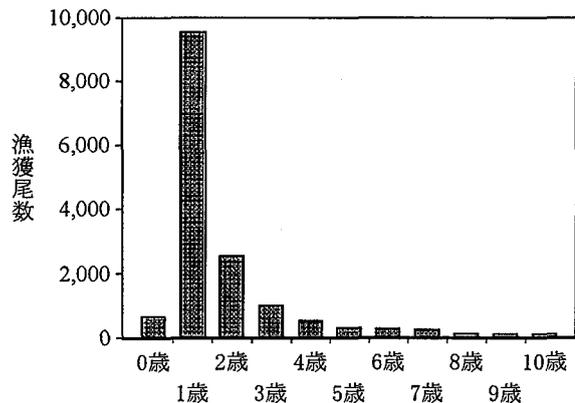


図2 ヒラメの年齢別漁獲尾数(1999)

が多いということになります。ここで、平成十一年に漁獲されたヒラメを、年齢別に振り分けてみますと、図一のようになりました。いくら底曳網によって漁獲されるヒラメが、釣りや定置網に比べて大型とはいえず、全体で見るとほとんど一歳魚のうちに漁獲されていることがわかります。計算してみますと、満一歳から四歳までで、実に全体の九割以上を占めています。

産まれてから一度も産卵に参加しない、未成熟のヒラメをたくさん漁獲しているということになります。このような漁業を続けていけば、産卵親魚量の減少→全体の資源量が減少→漁獲量の減少という構図が見えてくるのではないでしょうか。そこで、もう一度但馬沿岸域のヒラメ資源の現状を書いておきたいと思えます。

- 一、一歳魚の漁獲率が高く、明らかに成長乱獲（小型魚の獲り過ぎ）である。
- 二、二歳魚以上の漁獲率は、適正と判断される。
- 三、親魚量が減っており、乱獲状態である。
- 四、平成四年以降に急激な加入乱獲（親魚の獲り過ぎ）が進み、現在の資源水準は非常に低い。

この現状にあつて、私たちはどのような資源管理を行って行けばいいのでしょうか……？最後に、調査結果に基づいて平成十二年当初の資源量を推定しますと、資源尾数は約四万二千尾、資源重量は約三十七トンとできてきました。そして、これから計算される今年の予想漁獲量は約十トンで、依然として減少傾向が続くということになります。

栽培漁業センターです

141



但馬栽培漁業センターでは、ヒラメ、マダイ、アワビ、サザエの放流用種苗の生産を行っています。これに続く地域の有用魚種の一つとしてクロソイの量産技術開発に取り組んでいます。

さて、クロソイはその名の通り、体が黒っぽいフカカサゴ科の魚です。日本各地の岩礁域に分布しますが日本海側での漁獲が多く、但馬地域においても主に、カゴで漁獲されており、刺身や塩焼き等、口にすることはめずらしくありません。根付きの魚で大きな移動をしないこと、また、成長が早いことが栽培漁業に適していると思われ



クロソイ雌親魚

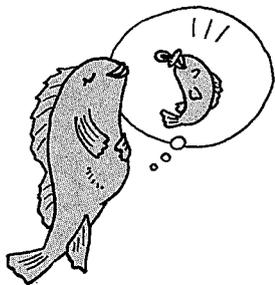
生殖孔が見えることは希ですし、かといって、魚体をタモ網ですくい上げて観察すれば相当なストレスを与えかねません。そこで、出産日を親魚の呼吸の様子から予測しています。大きく口を開けて、苦しうにゆつくりと呼吸するようになれば、ほとんどの場合、翌朝までに出産を迎

ます。その他、交尾によって体内受精を行い、雌の体内で卵が孵化し、ある程度まで仔魚が生育してから生まれてくる卵胎生魚であることが特徴です。当センターでは但馬沖で漁獲された全長約三十五センチ、体重約一・二キログラムの腹の張り出した雌を四月上旬に数尾搬入し、親魚としています。この大きさの親魚であれば五〜十万尾の胎児を抱えているものと思われ

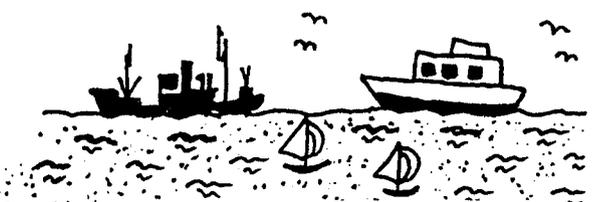
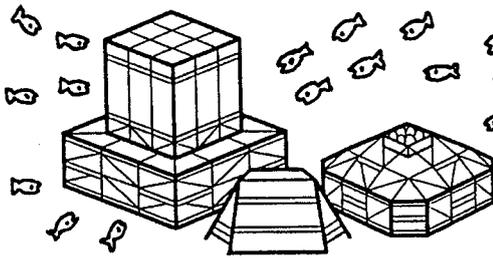
えます。なお、クロソイの量産技術開発には良質な親魚が必要不可欠であることは言うまでもありません。当センターでは出産前の活きの良い雌親魚を、毎年、関係漁協より提供して頂いており、今後ともご協力下さいますようお願い申し上げます。

ところで、各事業所の状況ですが、一見の兵庫県栽培漁業センターではヒラメ種苗生産と大型種苗量産化試験が行われ、カサゴ、マコガレイ、アサリも中間育成試験中、また、マダイ、ガザミの生産が間もなく始まります。淡路の津名事業場ではヒラメの大型種苗量産化試験中、但馬栽培漁業センターではクロアワビが三〜十二ミリ、サザエが五〜十二ミリになり、出荷中、ヒラメは四十二万尾の出荷を終了しました。

(兵庫協 南浦達也)



躍動する海 活動する 鋼製魚礁



神戸製鋼グループの魚礁メーカー
神鋼建材工業株式会社

本社 〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町46-1
大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2丁目6-17(大阪神鋼ビル)
海洋製品室 TEL (06) 6206-7440
FAX (06) 6222-4904

海区漁業調整委員会だより



四月十四日
瀬戸内海海区漁業調整委員会
委員協議会(兵庫県民会館にて)

一、水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画について
 国において、「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本方針」が策定されたことに伴い、県が基本計画を策定することについて水産課から説明が行われ、その後意見交換を行った。
 この件については、来月の委員会で知事から諮問が行われる予定。

二、平成十一年度海面利用協議会の概要について
 平成十一年度開催した、県海面利用協議会及び地区協議会での協議の概要について、事務局から報告を行い、その後意見交換を行った。
 三、平成十二年度兵庫県組織改正について
 兵庫県では、平成十二年度において本庁組織の統合再編をはじめ、平成十三年度に県民局の総合事務所化に向けた、地方機関の推進体制の整備等を行うことになっており、このことについて事務局から説明を行った。



四月二十五日
但馬海区漁業調整委員会
委員協議会
(但馬水産事務所会議室にて)

一、水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画(案)について
 国において、「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本方針」が策定されたことに伴い、県が当該基本計画を策定することについて、県水産課から説明が行われ、その後、意見交換を行った。
 この件については、来月の委員会で知事から諮問される予定。

二、水産基本政策大綱の概要について
 国の現地説明会等における当該大綱の概要について、但馬水産事務所から報告がなされ、その後、意見交換を行った。
 三、全漁調連通常総会の対応について
 協議の結果、会長の出席と議案対応は出席委員一任を確認。
 四、他府県小型いかつり漁業の許可取扱方針等について
 島根県の小型いかつり漁業許可取扱方針等について報告がなされた。



普及員だより

農漁村におけるパートナーシップをめざし
 仲間と共に、力をつける浜の母ちゃん達

男女共同参画法が制定され、今、農山漁村地域の女性の社会参画と経営のパートナーシップの推進が叫ばれるようになりました。
 パートナーシップを発揮するためには、女性自身が自立し、自分の意見が公の場で発言できることが必要です。また、我が家の経営が理解できる知識技術も必要です。
 今、農漁村地域で女性の経済的自立をめざした起業活動が芽生えています。

北但地域の起業活動の特徴として、女性が郷土料理店を営んだり、加工品づくりに取り組む事例も多く、特に漁家女性の起業活動は活発です。
 竹野町の竹野浜漁協婦人部では、漁家の食卓を飾っていたじんば(ホンダツツ)の佃煮を商品化し、県農山漁村生活改善実績発表大会の農林水産物加工の部で見事知事賞を受賞するなど、女性の能力を発揮し地域の食文化を活かした加工活動や、漁家女性が経営する民宿も数多く、早くから起業活動に取り組まれています。



浜の味づくりに取り組む母ちゃん達(城崎郡竹野町竹野浜)

豊岡農業改良普及センター
 高階 智世

兵庫JCC通信 今、JA・生協では

JA

ひょうこの農業をまつ
知ってほしいと今年も県内の
小学校四年生に学習資料を寄贈

J A兵庫中央会では、兵庫県内の農業についてわかりやすく解説した小学生用学習資料「ひょうこの農業」を県教育委員会の監修により毎年発行しています。今年も県内の小学四年生全員に配付できるようにと六万二千部を作成し、四月には地元のJ Aを通じて管内の全小学校に配付を完了しました。

この学習資料は、小学校の社会科で農業について学習するときに、地元兵庫県の農業がどのようになっているのかを写真・図・表を使って解説した副読本です。各小学校には既に視聴覚教材として「ひょうこの農業」のビデオをお届けしており、授業で両教材を有効に活用していただいています。

現在J Aグループでは、次世代のことも大切に日本の食料・農業・農村について関心を持ってもらい、少しでも理解を深めてもらうような取り組みをすすめています。この日もたちみずから田植え・稲刈りなどの作業に挑戦してもらったり、施設見学の実施や保護者・教職員を対象にしたセミナーや生産者との交流会の開催など、J A兵庫中央会では、これからも食料・農業・農村の大切さとすばらしさを、各層の人たちに訴えていきたいと考えています。



4月に発行した小学生用学習資料「ひょうこの農業」平成十二年版

生協

私たちが安心して食べたい!!
「食品の安全」学習会

保険医療委員会が主催して、四月十五日新長田ビブレで「食品の安全」について学習会を開き、二十四名の組合員が参加しました。講師に日本生協連の組合員活動部の北村洋さんを東京から招いて「食品衛生法改正運動」についてお聞きしました。

食品の安全をめぐっては、サルモネラ・O157などの食中毒が大問題化している一方、「口にするもので化学物質でないものはない」といわれるほど食品添加物・農薬・動物用医薬品もあり、いずれも適切な残留基準値が決められていません。

その上、遺伝子組み換え食品や環境ホルモン、ダイオキシンなどの消費者の努力だけでは対処できず、地球的規模で汚染が進行しています。アメリカやEUでは制度をつくり対応しているが日本の「食品衛生法」は行政が営業者を監督・指導するだけで、「消費者」が位置づけられていない。予防的な政策がとりにくく、後追いで対応になるなどの問題点があります。

そのため全国の生協で「食品衛生法」を改正する請願署名を集め、二〇〇一年の国会に提出しようとしています。請願署名では、消費者の権利と情報公開・市民参画を確立し消費者の役立っ表示をさせる、食品添加物・農薬・動物用医薬品の見直しを行う、食品の安全を検査・監視する体制を充実強化することを求めています。

「遺伝子組み換え食品」は当初安全と言われていましたが、消費者運動により二十九品目はJ A S法で表示が決まりました。消費者が声を上げて行く事が大切です。それぞれの生協が得意の分野で運動を広げて行きますようにと訴えられました。

保険医療委員会の安川医師は「薬の副作用は慎重に研究され、新薬も注意して使うが、食品の副作用は誰が注意するのか。消費者が極力排除するのはもちろん、法的な面で取り締まることも大事です。自分たちが納得してから署名を上げましょう。緊急ではあるが、じっくり取り組む問題ですね。今日がその最初の「一歩です」とまとめられました。

神戸医療生協でも班会でパンフやビデオで学習してから署名を上げたり、ウォーキングといっしょに食品についてみんな考えていくきっかけにしようと話し合いました。



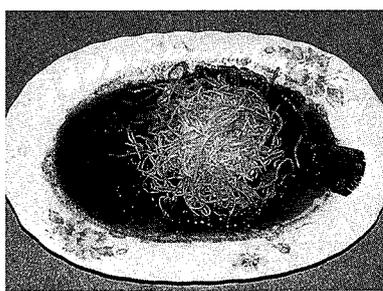
日本の生協が力を合わせて「食品衛生法改正」署名活動

生法改正「署名」に取り組みましよう、日本生協連の北村さん。食品の見本も展示して「食品の安全」について熱心な話し合いになりました。
(通信員 富本順子)

旬の美味しい話

84

かれいのみそ蒸し



◆材料(4人分)

- | | | | |
|--------|-----|-------|--------|
| かれい(中) | 1 枚 | 塩 | 小さじ1/5 |
| 酒 | 少々 | 砂糖 | 小さじ1 |
| しょうが汁 | 少々 | 油 | 大さじ4 |
| 片栗粉 | 少々 | A | |
| 干しいたけ | 2 枚 | みそ | 大さじ4 |
| ねぎ | 1 本 | 砂糖 | 大さじ2~3 |
| にんじん | 千切り | しょう油 | 大さじ1 |
| ピーマン | 1 個 | 酒 | 大さじ2 |
| 卵 | 1 個 | 「マ」油 | 小さじ1 |
| | | しょうが | |
| | | みじん切り | 小さじ1/2 |

◆作り方

- ①かれいをとり、腹をき、酒しょうが汁を少々を振りかけてしばらくおく。
- ②片栗粉を全体に薄くまいて「マ」油を入れ、中火で両面を焼く。
- ③干しいたけは水でゆかり、千切り、ねぎはざらにネギに少々取って、あとは4の野菜に切った千切り、にんじん、ピーマンもそれぞれ千切り。
- ④卵は塩小さじ1/5、砂糖小さじ1を入れ薄焼きにして、錦糸卵にする。Aをゆへ混ぜ合わせる。
- ⑤油大さじ4を入れた皿にかれいをのせて、上からAをかけ、おろし千切りした野菜をまかせて、蒸した鶏ももをのせて、16分ゆで蒸す。
- ⑥蒸しあがりたら、錦糸卵としょうがネギをのせる。

巻末エッセイ

洗濯について考える

◆雨がしばらく続いてカブリと晴れた日、住宅団地のベランダは洗濯物で満艦飾の賑やかさとなる。通常も何かしら干し出され、色とりどりの華やかな雰囲気があるが、雨上がりは桁はずれの賑わいを見せる。洗い物というのは興味がなくとも目がいくもので、特に華やいだ物があると見えてしまっている。訪問販売のソツソツに「干し物から家族構成を判断せよ」というのがあり、洗濯物が二つの目安とされる。売り込むのが若者向け商品なら、洗濯物から判断し、玄関先の履物に若さを感じたらチャレンジ精神を燃やせという。年寄りばかりの家では、玄関被いされて当然のことになる。

◆わが家では、雨が降りそうな日も日課のように洗濯をする。そして室内に干すことになる。部屋全体が湿気臭くなくて鬱陶しいが、洗濯物については文句が言えない。主婦業の努めを果たしているのだから、お任せするしかないまい。赤ん坊がいる頃、梅雨どきは部屋中がオムツで一杯になったが、今は使い捨てのものが出回り、汚してはポイと「処理」いだ。それはかなり動物的な行為で、資源のムダ使いのように思う。古い考えと非難されそうだが、木綿の洗い晒しが最適であり、自分が洗った清潔なものを着けさせることで、子供への愛情が増すのではなからうか。洗濯こそ育児の基本だと思つのだが…。

◆下着など切台切のさいがさいを捨てて洗濯をしない生活をしている人もいる。賢沢で優雅な暮らしといえるかも知れない。それに相応しい安価な製品も売られているが、勿体ない思いと同時に不精者という感じもする。物を大切にしたい気持ちは、人として当然のことである。自然な想いではなからうか。既に故人だが、明治生まれの祖母が元気であれば、横着者めと誘（そ）じることだろう。我が国はそれほど資源豊かな国では無い、もっと謙虚な気持ちで暮らすべきなのである。汚れたら洗い、洗ってはまた汚し、「ゴミ」を出さぬ生活こそ、現代人が理想とするべきことなのである

◆現代の洗濯は、機械によるのが当たり前になっている。いつか手を濡らさず乾燥までやっってしまう全自動機もあるが、どの家庭にもという程には普及してはいない。洗濯するのは、機械に依存し責方まかせなのだから、手間がかかるまいと思っていたが、イザやってみると実に面倒で時間もかかる。主婦に寝込まれ「三日の肩代わりだったが、一日で悲鳴を上げました。洗って干すだけの行為なのに、実に多くの時間をとられる。洗濯とは、面倒な手間と時間のかかるものだと感じ入り、主婦に脱帽したのである。

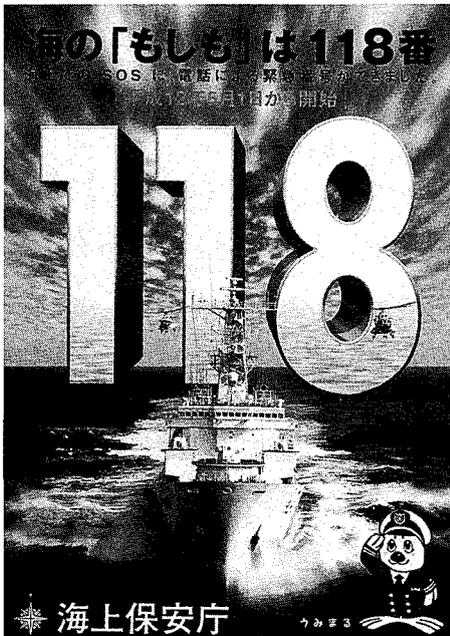
◆潔癖な人の話では、他人が使った物というのは、何か非常に汚い感じがするそうだ。自分分は清潔だという自負から、他人が使用したものは触りたくも無いという、食器も箸も専用用品がないと気が済まず、下着などは尚更である。きれいに洗濯した物も、不潔そうに扱ったりするが、潔癖さもこうなると病気になるような感じがしない。裏返して言えば、人の嫌がる汚れ物処理は良い儲け口なのである。大量に汚れ物を出す病院やホテルは、絶好の得意先になるが、真っ白に洗われた敷布や制服は、清潔さの象徴であり施設の自慢にもなる。洗い立てのものは気持ち良く、清々しさに満たされる。微かに石鹸の匂いが漂うのも、気持ちが良いものだ。太陽が燦々と当たる干場一杯の洗濯物に、平和の象徴を見る思いがするのである。

まめじじ

豆時事

海上でのSOSに電話による緊急番号ができました

118です



◆生協記事より

少し前に話題になったクローン羊やクローン牛を思い出します。遺伝子組み換えが動物にまで達すると、どうもそこは人間には犯してはならない聖域に思えてなりません。超えてはいけぬものを超えている様に感じることは古いのでしょうか…?

編集後記

2000年6月10日発行 通巻524号
 昭和32年10月18日 第3種郵便物認可
 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
 (財)兵庫県水産振興基金

〒652-3445 神戸市兵庫区中之島2-2-1

TEL 652-3445 定価80円 (本体76円)
 FAX 671-6685

のテレビの こちら 海です



東浦町の花いっぱい…花さじきで



夢舞台温室にて



五色町の夢工房で鉢づくりに挑戦

【2000年5月7日放送
 第1180回】

ロケだより

花の島・淡路 〈淡路島各地より〉

三月十八日に始まった「ジャパンフロア二〇〇〇淡路花博」五月初旬には三百万人を突破。と大人気を博しています。北淡路の淡路町と東浦町の二町にわたる広大な会場は、関西国際空港建設の為に甲子園球場の百七十杯分もの土砂が採取された百ヘクタールにも及ぶ広大な跡地。経済大国に成長した一九六〇年代を日本の青年時代とする二〇〇〇年は、壮年期、心に余裕を精神的にも快適に、そんな時代を迎えたいと云えるでしょう。

淡路花博は時代にふさわしく「人と自然のコミュニケーション」がテーマ。「高度成長時代に私達が自然に残した爪痕や、やもすれば忘れがちな自然への畏敬の念を取り戻したい。自然との共存をどう度皆で考えたい」と開催が決まりました。

大量の土砂の採取で残した赤茶けた爪痕、花博開催を前に先ず自然回復を優先、高低差百メートル、傾斜面の貧栄養、乾燥地等好条件はつもない中、砂漠緑化の先進地イスラエルの技術を導入、灌水システムを開発、淡路特有のウバメガシやヤマモミ等の灌木を植え、種を蒔きました。平成六年からスタートしたこの自然回復の結果、虫や鳥たちが開場を待たずに帰って来ました。そこから生まれたのが、自原知事自ら出演しての「みなさまを招待する前に、花や鳥や虫たちを呼びました」「虫の皆さまは入場無料です」と云うCMです。

今その広大な会場は花一杯です。今回は淡路花博を中心に島中花盛りの淡路島を訪ね、花のある暮らしを求めてみました。会場はひまわり、庭、淡路町の花壇、国際庭園等の「フローラゾーン」と、夢舞台温室、国際会議場等のある淡路夢舞台、百段苑からなる「夢舞台ゾーン」、アシアシヨーケース、ふれあいステーション、緑と都市(まご)の館、花の館からなる「ぎわいゾーン」とテーマ展示されています。水やり、花取り、植え替え等裏方さんの苦勞も大変なもの、とりとりの花々や珍しい花々をながめながら、自然との共存がもたらしてくれる豊かさを取り戻せる空間が、大勢の人々を誘う魅力になっている感じがします。自然があつて花や緑がたわで鳥や虫達がやってきて動物たちや私達が居る。

花を育てる喜びは生命を育てる喜びにと、全国的にも珍しい学校が昨年淡路に開校しました。県立の淡路路景園芸学校です。今年も第二期生二十二人が全国から入学しました。オーブンスペースの学校、全寮制で二年間、造園や園芸の他に土木、建築等を関連つけた新しい分野の学問が学べる学校です。

菜の花と紫花菜が見渡す限りの東浦海岸に面した「花さじき」で花を満喫、播磨灘に面した西浦海岸の花の町を訪ねました。先ず訪ねたのが全国の線香の約七割を生産する「香りと国生みの町」二宮町。香りの町と云うだけあって、小高い山の上の「パルシェ」は香りの館、香りの湯と東洋と西洋の種々の香りに満ち溢れています。香りの館では、東西の香りの歴史展示やアロマテラピー、リース作り、ハーブを生かした料理が、又香りの湯は檜風呂や日替わりのハーブ温泉……人気のソフトクリームもラベンダーと云う次第。

そして同じ西浦海岸の五色町では淡路一の洋蘭センター、完成したばかりの夢工房で鉢力ハーブの手づくり、ケナフの紙漉きと……花のある暮らしの豊かさをそこかしこで教えてくれました。